

くす通信

第272号
2023年10月1日

国立病院機構熊本医療センター 発行

救命救急科より

マダニ感染症について



「くす(樟)」の由来について

くす(樟)は常緑の広葉樹で、熊本城内に多く見られます。種々の精油成分を含み、良い香りがします。樟脳をはじめ色々な薬用成分が抽出されるなど有用な薬用樹でもあります。また、くすし(薬師)とは、医師のことを指し、くすしぶみ(薬師書)は医術に関する書物のことを言います。本誌はこの「くす」にあやかり、健康な生活を送るために情報を提供しております。お気軽にお読み下さい。

4 マダニ感染症の原因と対策

原因

- 野外活動中にマダニに咬まれる
- 感染した動物に触れる

対策

- 長袖・長ズボンの着用：なるべく肌の露出を少なくし、山や田畑に入る時などは長袖長ズボンを着用する。服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がおすすめです。
- 虫よけスプレー：マダニが嫌う虫除け剤を使用する。
- マダニチェック：野外活動後には全身をよくチェックし、マダニを発見したらすぐに取り除く。

- シャワーや入浴：帰宅したら体の汚れをしっかりと払い、服を着替えて、すぐにお風呂でよく体を洗う。

5 マダニ感染症の治療

マダニに咬まれたと気が付いた場合は、無理に取ってしまうとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあります。重症化することもありますので、マダニに咬まれた場合は早急に医療機関に相談し診察を受けることが重要です。基本的には対症療法で対応しますが、場合によっては抗生物質や抗ウイルス薬を使用することもあります。

山や田畑に入る時は肌の露出が
少ない服装を着用しよう



マダニ感染症の対策

明るい色の洋服がおすすめです
(マダニを目で見え確認しやすいため)

シャワーや入浴
よく身体を洗う

野外活動後に
全身を
チェックする

虫よけスプレー
マダニに効く
虫除け剤を使用する



マダニ感染症 について

救命救急科
おおもと ひろゆき
大本 寛之



1 マダニについて

マダニは、世界中に800以上の種が知られており、そのうち日本には47種が生息しているとされています。マダニは小さな節足動物で、主に森林や草地に生息しています。体長は3mm~10mm程度で、ダニ類の中では大型で吸血性です。マダニの種類によっては人間や動物に吸血し、感染症を媒介することが知られています。

春から秋にかけてマダニが活発化するため注意が必要です。



吸血前 (約 3mm)

吸血後は体が大きくなります!!



吸血後 (約 10mm)

2 マダニ感染症とは

マダニ感染症とは、マダニが媒介するウイルスや細菌によって引き起こされる病気の総称です。マダニが原因となる感染症には日本紅斑熱、ライム病、ツツガムシ病、SFTS (重症熱性血小板減少症候群)、ダニ媒介性脳炎、

クリミア・コンゴ出血熱などが知られています。ダニによる感染症は日本と世界で増加傾向にあり、気候変動や都市化、人々の活動範囲の拡大などによるものと考えられています。

3 マダニ感染症の症状

- 頭痛：強い頭痛が起こる事があります。
- 発熱：高熱が出る場合があります。
- 筋肉痛：全身に筋肉痛が及ぶ事があります。
- 皮膚の発疹：ライム病などは特有の皮膚症状を呈する事があります。
- 刺し口：症状の原因となるマダニの刺し口が見られます。



頭痛



発熱



皮膚の発疹



筋肉痛

等…

救命救急科の紹介

全職員を挙げて、24時間365日断らない救急医療を目指しています。熊本県防災ヘリ「ひばり」の支援病院、災害拠点病院に指定されています。熊本市消防局と救急ワークステーションを運用しており、救急現場への医師の派遣を行なっております。

認定施設

日本救急医学会の指導医・専門医指定施設、日本集中治療医学会の専門研修施設など多数の認定を受けています。

心肺停止蘇生後、敗血症、多発外傷、重症中毒といった、全身管理を要する患者さまに対して集中治療を行っております。また積極的に治験や臨床研究にも参加しております。他職種や他診療科とも連携し、よりよい医療を患者さまに提供できるよう、スタッフ一丸となって日々診療を行っております。

国立病院機構熊本医療センター

- 診察日 月曜日～金曜日
- 休診日 土・日曜日及び祝日
年末年始 (12月29日～翌年1月3日)
- 受付時間 8:15～11:00
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1-5
TEL 096 (353) 6501 (代表)
FAX 096 (325) 2519
H P <https://kumamoto.hosp.go.jp/>

※ 形成外科のみ受付は、水曜日以外の13:30～16:30となります。

※ 一部の科では、午後に予約診療を行っていますが、新患、予約のない方の午後診療は行っておりません。急患はいつでも受診できます。